

ひの 議会だより

No. 135

令和5年2月

発行/鳥取県日野町議会



日野に生きる第10回 チャンネルひのを作る人たち ～町の情報を映像で発信～

裏表紙に記事を掲載しています

主な内容

年頭の挨拶/10月臨時会 一般会計補正予算P2～3

12月定例会 一般会計補正予算/特別会計補正予算/条例改正P4～6

一般質問(9人)/常任委員会活動報告/小学生議会P7～11

令和3年度決算報告指摘事項に対する町の回答P12～13

議会の指摘に対して改善策が具体的に示されました

特集：行政視察報告P14～15

智頭町の行政視察に全議員が出かけ、濃密な意見交換を行いました

特集：日野に生きる「チャンネルひのを作る人たち」P16

物価高騰対策に国の交付金と補助金を幅広く活用！



日野町議会 議長 小谷 博徳

新年あけましておめでとうございます

初詣での金持神社には参拝客の列が切れ目なく、そして日野川の川面にはおしどりがたくさん飛来しています。

さて、今年4月は統一地方選挙です。本町においては町議会議員の改選があります。議員を選ぶ権利は皆さま方町民にあり、その権利が行使されるには投票が行われなければなりません。無投票では町民の負託なしに議員が誕生することになります。

公的費用で選挙戦が行われるようになりました。町民の皆さまにも、地域リーダーとなる議員候補者の発掘にぜひともご尽力をお願い致します。

日野町では毎年80人ずつ人口が減少しています。人口の減少は、人々の生活からあらゆる元気を削いでゆきます。

これらに対処するのが政治です。広く町民の声を聴き、町長に政策提言をし、皆さまが安心して住み続けられる町づくりを進めてゆくとこそ、日野町議会の役割であり目標です。

光り輝く令和5年にするため、町民の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます、新年の挨拶と致します。



新年の挨拶

肥料価格高騰対策支援事業150万円

【概要】肥料価格高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の低減に向けて取り組む農業者の肥料費を支援する。

議員 対象は化学肥料の低減に取り組む農業者ということですが、どのようにして対象者を把握するのでしょうか。

議員 国の制度に基づき、県と町とが協議して具体的な取り組みメニューを作っており、それに該当する農家さんが対象となります。

議員 申込み条件がかなり煩雑で、せつかくの交付金が農家に行き渡るの心配になります。交付金が無駄にならないよう工夫と努力をしてください。



畜産振興

46万9千円

【概要】輸入牧草等の飼料が高騰したため、酪農農家への支援を追加する。飼料価格高騰部分の6分の1を補助。

議員 前回の畜産振興事業においても、対象は酪農家のみで和牛農家は除かれていました。和牛農家への支援について伺います。

副議長 酪農においては飼料の上昇分を乳価に転嫁することが難しい。一方で鳥取県の和牛は、なんとか高価格を維持してきたということもあり、注視していかねばと思っています。

主な事業

運送事業者燃料費高騰対策支援事業

132万円

【概要】燃料高騰の影響を直接的に受けている運送事業者を支援するため、4トン以上には1台当たり5万円、普通車には2万5000円、軽自動車には2万円を支給する。

議員 対象となる事業者の条件を伺います。

副議長 日野町内に事業拠点に登録されている事業者を予定しています。

議員 具体的な事業者名を聞きます。

副議長 台数としては緑ナンバーが24台、軽貨物の黒ナンバーが6台ですが、個人の事業者もおられるので今はすべてを把握できていません。ただ、トラック協会に所属しておられる事業者さんは伯耆運送と落合建材の2社だと確認しています。

議員 郵便局で荷物の配達を請け負っておられる個人はどうですか。



副議長 郵便局自体には助成しませんが、郵便局から委託されて黒ナンバーで営業されている方は助成の対象になります。

電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

2864万2千円

【概要】電気・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が特に大きい住民税非課税世帯と家計急変世帯に1世帯当たり5万円を給付する。

議員 前回の同様の事業でもそうでしたが、都会に出ている息子さんのお被扶養者である世帯は除かれるのですか。

副議長 そうです。国の補助金で行う事業なので、国の要綱に沿う必要があります。



物価の上昇が止まらない

令和4年
10月臨時会
10月20日
一般会計補正予算
(第7号)

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」等を活用し、町民の暮らしを守る事業を展開。5901万4千円を追加し、令和4年度一般会計予算の総額を36億8771万2千円としました。

日野町灯油・ガソリン購入費助成事業

2749万6千円

【概要】コロナ感染症による影響が長期化する中、原油価格が上昇し、冬期間の暖房等に必要なたんぱく質・ガソリン等の購入費を助成。1世帯当たり2万円の購入費を支給する。

議員 今回の助成にもLPガスは対象になっていませんが、何故ですか。

副議長 ガスを取り扱う町内の業者とも相談しましたが、手間がかかり対応が難しいとのこと、やむなく対象外としました。

議員 高齢者の多い日野町では、注ぐのに重くて危険性も高い灯油をやめて、安全なLPガスに切り替えている家が多い。業者と再度、交渉すべきです。

副議長 業者の負担を考えながら、再度調整はしたいと考えます。



議会後、LPガスも対象となった

一般会計補正予算

DX(デジタル・トランス)がスタートする!

DXには、「デジタル技術を社会に浸透させ、人々の生活をより良いものへと変革する」という意味があります。

【概要】 図書館の郷土資料室には窓が無いため、空気清浄機1台を設置して換気を図る。新型コロナウイルス感染症対策を強化することにより、利用者が安心して図書館を利用できるようにする。



図書館の郷土資料室

図書館空気清浄機購入

18万3千円

【概要】 体育館の冬季間の暖房とコロナ対策の換気を行うため、ジェットヒーターを3台購入する。暖房機器の導入で、冬季間の寒い中でも換気を行いつつ運動ができる。

※本件は、消毒液などの感染症予防品を購入する予定であった消耗品費47万2千円を備品購入費に予算振替するものであり、予算の増額はない。



黒坂小学校の体育館

黒坂小体育館暖房器具購入

(予算振替)

DX推進支援業務委託 50万円

【概要】 自治体DXを推進するにあたり、専門的な知見を有する外部の事業者から支援を得て、より多角的な面からの推進を図る。1月から3月までの3か月間に月2回程度の訪問のほか、電話などで支援を受ける。

議員 どのような業者に業務委託をされるのですか。
副長 委託先の「一般社団法人日本管理者機構」は、令和3年設立の少人数の法人ですが、本町を担当される方は自治体IT関係の経験が豊富で、本町のシステムについても良く知っていらっしゃると思います。
議員 本来、自治体の契約は競争入札が原則ですが、あえて随意契約とした理由を聞きます。きちんと2社以上からプロポーザルなどを出させ、4月からの本予算で立ち上げてよいのではないですか。
副長 本町のDX化事業は他町と比べても非常に遅れており、一刻も早く体制作りに着手したいという思いからです。
議員 4月の本予算でも、このまま随意契約となるのではないのでしょうか。
副長 地方自治法、日野町財務規則、施行令などの法令に則って進めていきます。
議員 DX事業の利便性については町民への啓蒙・周知が必要であり、スマホの使い方の講習も必要です。
副長 町の「デジタル化推進本部」で課題を抽出し、住民サイドでのDX化の効率的な進め方を検討します。



役場職員の仕事にもパソコンは欠かせない

主な事業

畜産堆肥活用推進事業

50万円



重労働の堆肥散布がマニアスプレッダなら一気に

【概要】 堆肥活用推進補助金として当初40haの堆肥散布を予定していたが、事業啓発の効果により10ha分の追加需要があったため増額する。

機械による運搬・散布の正規料金は10アールにつき1トン6600円だが、補助率5/6で5500円を補助し、利用者の利用料金を1100円とするもの。

ただし、2トンの場合の利用料金は3300円、それ以上の散布は正規料金となる。

本事業の目的は、農地の土壌改良と循環型農業を推進し、耕作農家の意欲及び所得向上を図るもの。

移動販売事業

33万4千円

【概要】 あいきょうの経営者・安達商事に対し、日野町は県と共同で移動販売車購入の補助を行ったが、安達商事の事業終結により補助金の返還を安達商事から受けた。そのうちの半分を県に返還するもの。安達商事からの返還金66万8千円は本補正予算の歳入に計上。

町営住宅管理 91万3千円

【概要】 町営住宅の老朽化に伴う各種の修繕を、追加で行う。特定公共賃貸住宅漆原団地の合併浄化槽プローアとポンプの修繕。町営住宅北原団地の脱衣場床の修繕。町営住宅第2黒坂団地の脱衣場クロス等の張替え。

いずれも建築年数が20年を超え、28年を経過しており、安全で快適な暮らしを送るための適正管理を行う。



討 論

●反対討論

DXの推進支援業務を委託する相手方が、法人というより個人の性格が強いと感じましたが、この方が何らかの理由で業務を遂行できなくなつた場合はどうなるのか。随意契約であることを含め、疑問を払拭できません。

また、契約期間の3か月が過ぎて4月以降の事業委託先を選定する場合、同じように随意契約になるのではないかと危惧されます。DX推進という目的は大いに賛同しますが、選定プロセスを看過できないという立場から反対討論とします。

●賛成討論

町長の答弁にもありましたが、本町は他町村に比べDXの推進が遅れています。したがって、庁舎内でデジタルを扱う役場職員の知識向上とスキルアップの事業には、急いで着手しなければなりません。

デジタル技術の活用で変わる暮らし

議員 パソコンやスマホが浸透してきて私たちの暮らしも変わってきています。この技術を行政サービスに活用するという「自治体DX」について考えをお聞かせします。

副長 マイナンバーカード、コロナ禍での遠隔地での仕事等、役場の業務にも切り離せないものとなつてきています。DXを活用した役場業務の効率化、住民サービスの拡大は喫緊の課題であり、役場一丸となつて取り組みます。住民サービスのDXは、スマホを中心とした取り組みになると思います。議員 このままスマホ中心で行くと、スマホが使えない人とのサービスの格差が生じる恐れがありますが、どう克服しますか。

副長 町では「日野町DX推進本部」を立ち上げ、スマホが使えない人たちを減らす方策も検討しています。



松尾 信孝議員



採 決

同時に、DXによる町民の皆さんの利便性向上も急ぐ必要があります。また、今回の補正予算案には堆肥活用推進事業や住宅の補修事業など、町民の生活にとつて非常に大切な事業が組まれていきます。以上の観点から賛成の討論とします。

採決の結果、賛成7人、反対2人の賛成多数で可決されました。

特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計
 - ・9万7千円を追加補正し、総額は4億2037万5千円
- 簡易水道特別会計
 - ・14万6千円を追加補正し、総額は8814万8千円
- 公共下水道事業特別会計
 - ・3万6千円を追加補正し、総額は9977万9千円
- 農業集落排水事業特別会計
 - ・7千円を追加補正し、総額は4855万4千円

○「町職員の給与に関する条例」の改正

・人事院の給与勧告に基づく条例の一部改正。初任給及び若年層の月例給を引き上げし、初任給月4000円から段階的に月2000円の引上げ。

・再任用職員以外の職員の勤働手当の支給率を0.1月引き上げ1.9月を2.0月にする。
・再任用職員の勤働手当を0.05月引き上げ、0.9月から0.95月に改める。

○「日野町職員の定年引き上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例」の制定

・職員定年を段階的に65歳に引き上げる。令和5年4月1日から令和13年3月までにおいて、2年ごとに引き上げることとする。



採 決 表

議案	議案の概要	中山法貴	梅林敏彦	金川守仁	松尾信孝	中原信男	松本利秋	安達幸博	佐々木求	竹永明文	採決
第64号	日野町職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第65号	日野町職員の定年引き上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第66号	令和4年度日野町一般会計補正予算(第8号)	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第67号	令和4年度日野町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第68号	令和4年度日野町簡易水道特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第69号	令和4年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第70号	令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

お詫びと訂正＝前134号の6頁「マイナンバーカードによる住民票等交付事業」の説明分の中で、「コンビニで住民票を交付する際の手続き」が「役場での手続きと同じように手書きで申請する」と記しましたが、これは間違いで、コンビニではマイナンバーカードをマルチコピー機で読み取るだけで簡単に交付ができます。お詫びして訂正致します。

議員 例えば、役場からの通知、ごみ集積所までの距離の短縮とか、買い物サービスの注文、安否確認、災害時の避難誘導等もスマホを双方向活用して実現できます。一方で町内にはまだスマホがつかない地域があります。

副長 県などとも連携して解消に努めますが、ケーブルテレビの回線も活用できます。議員 これだけ変わる仕事の仕方や住民サービス。これを担う人材の育成が課題です。

副長 人材育成ばかりでなく、自治体DXの推進では、例えば日野郡連携会議等での広域的な連携が重要で、町長がリーダーシップをとって取り組みます。

森林環境譲与税の運用について

議員 国から森林環境譲与税が地方自治体に予算措置され日野町にも毎年交付されています。これを財源として、今まで以上に町の森林行政の拡大及び推進を図る必要があると思いますが、森林計画の策定はどうなっていますか。

副長 今年度中には、林業・木材産業の再生と雇用への貢献、森林資源の有効活用をしていくための指針となる「日野町森林・林業振興ビジョン」を策定したいと考えています。

議員 林業従事者の育成、及び人材確保についてどのような考え方を持っていますか。

副長 伐採や造林の現場を支える林業従事者の確保は重要であり喫緊の課題であると認識しています。

町としては、林業労働者福祉向上推進事業や、日南町林業アカデミー卒業後の担い手を育成・確保



森林計画の早急な策定を

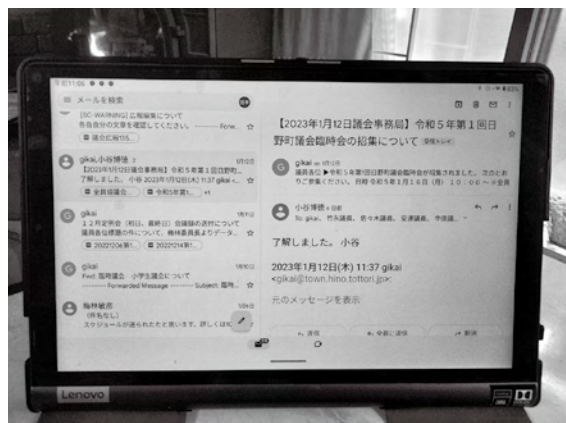
するのための日野町林業従事者雇用促進給付金事業などに取り組んでいます。

電気自動車の充電施設について

議員 日野町には、電気自動車の充電施設が1カ所もありません。今後の社会状況を踏まえ、施設を設置する考えがありますか。

副長 国道181号線周辺は充電環境の整備が遅れている地域でもあり、充電インフラの充実が必要です。今後、設置場所について検討し対応していきたいと思っております。

議員名の下にQRコードを読み取ると、その議員の一般質問動画が視聴できます。



今では議会からの連絡もスマホに届きます



中原 信男議員



議員名の下QRコードを読み取ると、その議員の一般質問動画が視聴できます。



金川 守仁議員



議員 「金持テラスひの」の契約が5年で更新となります。レンタルキッチン有効活用を図るために契約状況について伺います。
副長 平成29年12月から令和4年11月30日までの5年間、賃貸借契約を締結しています。契約期間が満了する3か月前までに解約、または条件変更の意思表示をしない時は同内容で2年間契約を更新することとなっています。令和6年11月30日まで更新させていただきます。



レンタルキッチン利用者募集チラシ

副長 町内外の飲食店など気軽に来店いただけるよう観光協会と連携しPRし、賑わいづくりの拠点づくりとしてまいります。
議員 スポットのレンタルキッチン使用料と店舗外の場合使用代との格差はあるのでしょうか。
副長 双方とも同様に売り上げの15%を基本にしていますが、その他光熱費、電気、ガス使用量等が加算される場合があります。
議員 日野町内での移動通信の受信状況を伺います。
副長 町内では、10月に独自調査を実施しましたが、引き続き詳細な調査を通信会社にお問い合わせするところです。

議員名の下QRコードを読み取ると、その議員の一般質問動画が視聴できます。



松本 利秋議員



廃校活用で「子ども部屋」を整備

町有財産の活用で町の活性化を
議員 町に来ていただくには、廃校などを活用して、町等が所有している文化・芸術の整備と活用が必要だと思います。
副長 廃校となる学校の活用については現在検討中です。文化・芸術関係品を展示保管することについては、具体的な計画は現段階ではありません。

議員 これは、町民が文化・芸術に触れ、豊かな心を育むのが第一の目的と考えております。
八頭町の廃校を活用した八頭町芸術・文化交流プラザ「あーとふる八頭」を視察しました。地元出身の洋画家、版画家、天文家の足跡紹介、出土品の展示、町民の作品の展示があり、中でも目を引いたのは、こども部屋があつて、月1回の掃除のボランティアや活動展示もありました。
副長 私も新聞を拝見し、すごく興味を持ちました。早速担当課に話をしました。どのくらいコストがかかるのか、またお金だけではなく、職員の配置などいろいろ情報を取ってみたい。まずはそこからだなと思います。
議員 高齢化社会で安心・安全に暮らすためには、向こう三軒両隣ということわざがあるように自助、共助だろーんと思います。
集落が元気を取り戻すため、お手伝いをする集落支援員(専従・非常勤)を町内全域に配置することが必要ではありませんか。
副長 集落支援員さんがいられて頑張っておられる地域ではいろいろ成果が上がっておりますので、学区区とか旧村を単位として全地区に進めていきたいと思っております。



中山 法貴議員



議員 「以前は役場から地域に対して魅力化支援8年目だが

議員 日野高校への支援は今年度の予算が3364万円です。支援を始めて8年間の合計では1億円を超えています。しかし現在、日野高校は生徒数の減少により存続の危機です。
日野高校支援の取り組みと、それによる地域活性化と人材育成の成果を伺います。
副長 日野郡3町が設置した日野高校魅力向上推進協議会にて協議し、高校の魅力情報を発信するなど入学者数の増加のための支援をしています。
議員 高校と地域が連動した活動は活発化しています。日野高校から町内へ就職する卒業生も出ています。



日野郡の未来を担う日野高校

し、何かやらせることがないかを聞いていたが、最近では地域の方から高校生を出してよと声がかかるようになった」と、町の担当者が県民力レッジで高校生の地域活動を発表していました。
私はこれを見てガッカリしました。これは1年目でやるようなこととです。8年間やってきてこれですか。戦略がまったく見えません。
生徒の興味を引っ張り出して、生徒自らが動くようにする。それを地域全体で支援するのが魅力化ではありませんか。
副長 地域との繋がりを広げる中話です。これを回転させ大きくしていく考え方は。



安達 幸博議員



安心して暮らせる町にするために

議員 近くにいた人が心臓を押さえ倒れたとき、私たちはどうしますか。救急車を呼び、AEDを探します。安心して暮らせる健康医療の視点で考えると、AED設置数は多いほうがいいと思います。設置の推進について伺います。
副長 町内では24か所にAEDが設置されています。
町施設の設置場所は、日野町役場、町図書館、町公民館、町防災センター、金持テラスひの、根雨小学校、黒坂小学校、日野中学校、リバーサイドひの、ひのっこ保育所の10か所です。
議員 根雨地区にたくさんありますが町全体からすると偏っています。町の施設で未設置な憩いの家、町公舎、真住公民館等にも整備しませんか。
副長 AEDは、安心・安全のためたくさんあればいいと思いま



AED設置施設「いちょうの木」

す。検討します。
使用の方の訓練や講習会も必要と考えます。
議員 スマホで見られるAEDマップがあります。民間の設置も含め掲載するように啓発してください。また、自治会が購入希望の時、補助制度をつくり推進しませんか。
副長 設置場所の見える化については、民間施設を含め啓発をお願いし、見える化に取り組みしたいと思います。
AED導入の補助制度は、置くだけでは使えない状態が予見されますので、AED使用の講習会を自治会で複数人受講するなどを要綱に盛り込み、制度を作りたいと思



日野高校黒坂校舎グラウンド

日野高校のグラウンド活用
議員 陳情を受けて、日野町議会は郡民体育大会や四県四郡などの歴史ある体育大会を継続して開催し、スムーズに運営するために、雨天でも利用できる陸上競技場が求められます。日野高等学校黒坂校舎のグラウンドの陸上競技場を日野郡3町が連携し、スポーツの



竹永 明文議員



活用拠点として整備することは、本町をはじめ、日野郡のスポーツ育成やスポーツコミュニティの醸成につながるという理由で、採択をしました。
町長は議会の採択をどのように受け止め、どのように検討されましたか。
町長 日野町に黒坂校舎のグラウンドがある町として、事務局の役割を担わせていただいて、検討させていただきました。
議員 具体的に3町で協議されましたか。
町長 正式に会議をしたのは2回でございます。トップ会談は8月9日、1日だけです。
議員 3町で連携してグラウンド整備をするという確約ができれば申込みができたはずであったが、誰の判断でされなかったのですか。
町長 3町の教育委員会の課長とお話をして、協議の結果、日野町の教育委員会が判断いたしました。
議員 日野郡全体の子供達にスポーツの活動拠点が必要であり、もう一度違った観点からお考えください。
町長 黒坂校舎グラウンドにおいては、3町連携の中で方向性を持つていくのか、考えていくのか、議題にしてみたいと思います。



全国各地で計画が進む風力発電

住民に十分な説明を求めよ
議員 伯耆町から江府町、南部町、日野町にかけ、32基の最大出力14万4千kwの風力発電事業が計画されています。町の基本的な考え方を伺います。
町長 大規模な開発だと、山腹崩壊による土砂災害の危険や土砂流出による水質悪化の問題、低周波



佐々木 求議員



や騒音などへの懸念、景観への影響といったことがあり、現在事業者で生態系や地形の調査などしており、環境影響調査の準備書を県に提出する準備を進めています。手続的には地権者と業者の交渉になりませんが、住民説明をしっかりと行うように求めていきたい。
今後準備書が県に提出され、意見照会が地元自治体にもある中で、住民の御懸念も含め、言うべきことはちゃんと申し上げていきます。
今地方の声をあげる時
議員 国は社会保障審議会が医療から介護まで検討を始めました。医療窓口負担1割から2割、介護保険利用料の2割への引き上げ、要介護者1、2を外す問題など始めました。ケアプランなども有料化しようとしています。今地方の声をあげる時です。
町長 利用者負担の2割の対象拡大はサービスを減らさざるを得ない人の増加が推測されますし、要介護1、2の市町村の総合事業に移すのは反対の立場で対応したい。ケアプランの有料化は本来のケアマネジメントに付随し、各種生活支援等を行っています。現行給付を維持すべきと考えます。



梅林 敏彦議員



日野高校双葉寮の在り方について
議員 日野高校は入学者減対策として県外生の受け入れを始めました。答弁によると、全校生徒のうち4人に1人が県外生となりまます。当然、学校全体の雰囲気にも変化があるはずですが、町長の認識を伺います。
町長 全国各地から多様な価値観を持つ生徒さんが集まっておられます。先日、校長先生とお話の中で、自分の気持ちや考えをきちんと言葉にして伝える生徒が増えてきたとおっしゃっていました。
議員 その県外生が暮らす場が双葉寮。寮には一般家庭と同じように地域の情報が届いていますか。
町長 テレビは食堂にあります。が、中海テレビは視聴できません。チャンネルひのはインターネットで視聴できます。無線放送受信機は舎監室にあります。
議員 寮生からこんな話を聞きました。「自分たちの活動をテレビ

教育民生常任委員会

日野町小・中学校を視察

日野町の義務教育課程においてICTがどのように活用されているかなど、現場視察を実施しました。
小学校では、根雨・黒坂両校ともに児童全員がタブレット端末を貸与されており、電子黒板を使って先生とのQ&Aを見事に使いこなしています。
日野中学校では、電子黒板を活用した授業を中心にグループで使用するこことが多いとのこと。
少人数でのICT活用授業は、子供たちの将来にとって非常に有効な体験となるだろうと実感しました。



電子黒板を使った授業(根雨小)

日野学園の工事現場視察

現状は大きな工事の遅れはなく進められています。校舎の外装について、洗浄だけでなく塗装もできないかとの常任委員会からの提案については、開校後に時期を考慮して駐車場整備などを含めて検討することです。



27名の県外・県内生が暮らす双葉寮

が取材に来るけど、その放送で自分たちの活動がどう評価されるのかわかることができない」と。
町長 これについては、高校との打ち合わせ会で触れてみたいと思います。
議員 町報は届けられていますか。
町長 自治会を通して配布されるので双葉寮には届いていません。
議員 寮生も町民の一人です。根雨駅に町報が置かれていないように、自治会を通さなくても配布できるとは思いますが。
町長 ご希望があれば配布することは可能なので、高校とお話をし配布するようにという話を担当者として聞いています。

小学生議会開催

黒小6年生5人が一般質問

1月19日、本会議場で小学生議会が開かれ、黒坂小学校の6年生5人全員が一般質問に立ちました。
濱岡ささら議員から始まって、頭本帆花議員、青戸優希議員、伊田蒼介議員、そして最後に池平龍樹議員が締めました。
鉄道ファンをいかにして日野町の活性化に結びつけるか。黒坂小学校跡地をどう活用するか。提案を交えながらの鋭い質問は、傍聴した本物の議員から時に拍手が起るほどでした。



小学生議員の提案は実現するか?



空き家対策事業の要項見直しや 放送審議会の設置など 改善策が報告されました

令和4年9月議会では令和3年度の決算審査を行い、指摘事項として6項目を町に提出し、回答を求めてまいりました。その回答が12月議会に報告されました。

決算審査報告

審査報告

指摘事項①
収入未済額について
(住民課)

一般会計・特別会計の収入未済額滞納者数はわずかではあるが減少しており、一定の評価はできる。

しかし、固定資産税、住宅新築資金等の貸付金等の未収額は依然多額であり町財政に与える影響は大きい。今後も各課の連携を図りながら、新規の滞納者が発生しないよう注視するとともに、一層の徴収業務に努められたい。

また、今後滞納者の高齢化が進み、死亡後の未収金の徴収がすでに困難になっている事例も見受けられるため、従来の徴収方法を見直すなど検討されたい。

○取り組み及び改善状況

未納者については新規滞納者を発生させないよう、早期の催告、財産調査等を行い、庁舎内関係部署と連携しながら徴収業務に努めています。

滞納者については十分な実態調査のうえ計画的納付の誓約、差押え等の滞納処分や県滞納整理機構との連携により、未収金回収対策の強化に取り組み、継続的な収納業務を行っています。

また、滞納者死亡により徴収・回収困難な案件については、相続人等実態調査のうえで地方税法や要綱に基づく滞納処分の執行停止など、適正な処理を行うてまいります。

指摘事項②
福祉と防災が連携した交流拠点づくり事業について
(総務課)

ひの防災福祉コミュニティセンターと日野町社会福



町としましては、引き続き、日野防災福祉コミュニティセンター及び日野町社会福祉協議会と連携し、多角的な面から課題を共有し、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

指摘事項③
不用額について
(総務課)

不用額発生理由はそれぞれあるが、毎年同じ科目で不用額が出ているケースも見受けられる。

○取り組み及び改善状況
前年と比較して増加しました。主な要因としては、新型コロナウイルスス地方創生臨時交付金を活用した事業の展開や、感染症拡大の影響により、さまざまな事業を中止や縮小したことにより不用額が増加したものです。

予算査定で十分精査し、予算執行に不用額が発生する場合は予算を減額補正するなど、不用額が過大に発生しないよう適正な処理に努めてまいります。

指摘事項④
移住定住空き家対策事業について
(企画政策課)

事業が行われなかったこ

とにより補助金返還を求めたが、全額返還されず一部未納として処理された事案が見受けられた。今後は、事務処理を適切に行うよう努められたい。

○取り組み及び改善状況

経済的理由等により補助金交付しなれば工事代金の支払いができない状況にある場合に限り、概算払いを認めるよう要綱の見直しを行います。

今後、このような事案が起らないよう、適正な事務処理を行うてまいります。

指摘事項⑤
CATV番組制作について
(企画政策課)

放送開始より一定期間が経過したので、今後の番組内容については、町民の声を反映させて福祉の向上に活かされる番組制作に取り組みたい。

○取り組み及び改善状況

視聴者の皆様や有識者による委員会を早急に組織し、ご意見をいただきなが

ら情報発信に努めてまいります。



指摘事項⑥
日野町交流センター「リバーサイドひの」の決算について
(産業振興課)

指定管理料として町は年間1200万円支払っている。決算書に300万円が雑損失

として計上されているが、内容が不明確である。実態を確認し、場合によっては委託料の返還を求めるなどの処理をされたい。

○取り組み及び改善状況

決算書について改めて指定管理者に確認しましたところ、300万円は、日野町交流センター「リバーサイドひの」の運営に必要な報酬、旅費、交通費等、各委託料、事務員給与であることが確認できました。

決算書類及び、確定申告書類を作成されている税理士事務所を確認した結果、雑損失は他に割り振りがない経費を計上するのが一般的であり、毎月定額の支出は雑損失に該当しない可能性が高く、本来は、それぞれ仕分けして計上するのが丁寧な処理との見解でした。

当該税理士事務所では、収入を支出に計上するなど、極端に誤っている場合は決算書の修正を依頼されるところですが、今回の内容はそこまでではなく、税務上は区分けして報告しないため問題はないとの認識であり、株式会社MAサービズで妥当と判断されたところの内容を重視されたところでした。

決算審査報告

社協議会は、町が委託している事業内容に重複しているものもあると思われるので役割分担を明確化されたい。

○取り組み及び改善状況

活動の内容によっては重複するよう見られる事業もありますが、その立場の違いから幅広い視点で地域のみなさんを支援することができま

日野町交流センターの適正な運営のため、指定管理者による適切な会計処理が行われるよう努めてまいります。

★指摘事項⑥の回答については、以下のような質疑が行われました。

議員 町の説明では、毎月25万円ずつ、年間では300万円の雑損失が生じたとのことですが、毎月一定の損失が発生するとは考えにくく、数字合わせではないかと受け取れます。

議員 各項目ごとに数字算出の説明がありました。それは経費であつて雑損失ではないはずですが、

副議長 実際のところは、経営をされていく中でこうした経費が必要だったのかなと推察しています。

副議長 たしかに雑損失という名目の上げ方は、間違いだったと思います。そのことを改善項目としてMAサービズに伝えていきます。

議員 今後のことだけでなく、今回もう一度、経費としての内訳を報告してもらいたい。



観光振興と議会改革について、鳥取県智頭町へ全議員で行政調査に出かけました。(11月22日)

観光振興は観光の創造から

平成9年、智頭町にはこれといった観光資源がなかった。町長の「石谷家住宅を活用して観光振興を図る」の一言から始まった。早速、国登録有形文化財に登録された。平成11年、石谷家保存活用調査を長岡造形大学の宮澤智士教授へ委託した。

石谷家住宅の特別公開が実施され、5日間で1万人の入館者があった。

平成12年、石谷家住宅が町に寄贈され、管理する財団法人の設立発起人会が開催された。

町は4億円(過疎債)で活用整備工事を行い、智頭町指定文化財に指定した。管理運営は、設立された財団法人因幡街道ふるさと振興財団へ委託した。



平成13年、石谷家住宅の一般公開が始まり、平成21年には国の重要文化財として指定され、平成27年には年間入館者数は3万人となった。

石谷家は林業経営を営んでいたことから智頭の林業景観の重要な構成と評価され、観光振興は板井原伝統的建造物群保存地区、杉神社が構成文化財へと発展した。

住宅の管理運営は、令和3年は町から1020万円を委託され、職員3名で行われています。

議会改革委員会を設置

智頭町は、人口6427人、議員定数12人、議員報酬22万9千円(日野町は22万1千円)です。

平成29年、町議会選挙は無投票だった。平成30年、議会は「議会改革に関する調査特別委員会」を設立した。翌年、町民らで構成する「特別職の報酬等に関する審議会」に諮問した。結果、「報酬は増額、定



智頭町役場での研修

数は現状維持」の答申が示された。

令和2年、議員報酬を月額22万9千円から28万円へと増額する条例改正案を賛成多数で可決した。経緯は「議会だより」を通じて町民に広報された。

議会報告会

「ここから28万円の金額が出るのか」「住民の理解を得ていない」「凍結して新しい議員で議論し、住民に説明してから決めてほしい」「白紙に戻して住民投票を」などの批判する声が相次いだ。

当時の議長は「お手盛りで上げるわけではない。報

酬は来年の町議会選挙後に増額する。若い人が立候補を検討する材料になればと願いを込めた」と住民説明会は計8回に及んだ。

「智頭の住民活動を考える会」が結成され、条例の改廃を請求する1167人の署名が集まった。令和3年3月議会でも同会は「議決に至るまで住民説明がなく、引き上げ額の根拠が不明。引き上げに値する議会や議会活動とは思えない。町の財政面でも懸念がある」と意見陳述をした。

議会は、署名を受けた議員報酬の引き上げ撤回議案を否決し、議員発議の報酬引き上げ条例実施の2年延期を可決した。

現議長は、2年延期の間に「住民と意見交換し、理解を得る活動を展開する。無条件で引き上げるのではなくその時点で再度考える」と話す。

同年7月の選挙は、定数12名に対し、14名の立候補があったということです。

議員は、調査研修活動や住民意思の把握など、議会外においても活動を行い、住民福祉の向上に寄与することである。議会の現状活動内容・報酬等を町民のみならず説明することが必要であり、そのうえで理解を得ていかなければ改革はできないと思います。

竹永明文議員

議員になってから、いつもテーマは「住民の声に添えてきたか」という思いがあります。この議会の議員さんの思いも同じです。

住民の声が政治を変える力だと、しつこく思わされた研修でした。

佐々木 求議員

自治体のトップは、明確なビジョンを持ちトップダウンで伝え課題を共有して事業を進めていく。この手法で観光町「智頭」を確立された。事業の説明をされた企画課、教育委員会職員の職員さんが「間違いなく町長の指示、牽引がなければ成功していません」の言葉が印象的でした。

安達幸博議員

行政視察を終えて



石谷家住宅については、「一般公開へ向けての歩み」において、石谷家の文化財の登録から重要文化財としての指定まで、前町長を先頭に教育委員会、関係職員の努力が感じられた研修でありました。今回の、研修、視察を今後に生かして行きたいと思っています。

中原信男議員

智頭町の観光の目玉である石谷家住宅。消防屯所(有形文化財)、無人の西河克己映画記念館を視察。本町の旧山陰合同銀行はなぜ活用できないかと失望します。智頭町議会では経緯の後、町民と議会との対話が進められており、当たり前のことですが見習うべきであることに刻みま

松本利秋議員

この議員報酬では議員のなり手、とりわけ若い人のなり手がなくなるといふ危機感からであった。4年後の保証もなく子供達の教育資金の捻出にも苦労する今の報酬レベルでは若い人達が議員になろうとする魅力がない。議員報酬の議論は避けて通れない課題であると感じました。

松尾信孝議員

私の感想

議員に対する悪い固定観念が強すぎていたことが課題だと感じました。「何も仕事をしないのに高い報酬を得ている」ことだと思えます。「苦情処理」「行政批判」など、議会改革とは現状、議会が疲弊していることを住民感情として置き換えて責任転化しているのではないかと感じます。

金川守仁議員

智頭町がやった議会の見える化、議員の活動の見える化は、町民にとっては大変喜ばしいこと。しかし議員にとつてこれは、かなり手間であり、嫌がる議員もいたはず。それでも実行されたのは、やはり強い町民の声があったからではないでしょうか。鍵は町民の声。

中山法貴議員

アンケートの結果を見ても、議員の活動や議会の活動が見えない。ここが報酬値上げやなり手不足につながる要因の一つと考える。そのためには、町民の生活課題の解決に議会が果たした結果をまず作る。その結果が議会の必要性や議員の仕事の崇高性につながるかと考える。

小谷博徳議員

日野に生きる

第10回

チャンネルひのを作る人たち

～町の情報を映像で発信～

手づくりの番組

「お願いします!」
「いきまず、5、4、3、2…」
「始まりました、週刊ひのニュース。MCを務めます川上彩花です」
「あ、雑音が…。もう1回いきます」
ここは米子市新聞にあるSCNの放送スタジオ。アパートの一室を改造したものです。番組の雰囲気と同じく、手づくりの温かさが漂うスタジオです。
収録日のスタジオにいるのはディレクターの足立哲也さん、MC(進行)の川上彩花さん、そして音声担当の女性の3人だけ。
「他に記者が3人。記者はひとり構成、撮影、音声、編集をこなします」(足立



哲也さん)
つまり、チャンネルひの番組は、わずか6人という少数精鋭で製作されているのです。まさに手づくり。
パン屋のアルバイトが…
「町を歩いていると、この前の『あやカメラ』の猫、どこの猫? とか声をかけてくださって、すごく嬉しいです」
と話す彩花さんは、根雨地区在住の日野町民。日野高校を卒業後、あこがれの声優を目指して大阪の声優養成所に2年、ビジュアルアーツ専門学校に2年通いました。
しかし、事情があつて日野町にUターン。金持テラスひののパン屋さんでアルバイトをしている時、チャ

ンネルひのの「みんなの広場」で店のPRに駆り出されました。すると…
「その時のしゃべりが非常にきれいで、この人、MCに向いてるな」と
そう話すのは、記者の松本博満さん。ちょうど前任のMCさんが辞める時期に差しかかっており、声をかけたら即OK。
こうして、日野町民の司会者が誕生したのでした。



もうじき5周年

2018年5月にスタートしたチャンネルひのは、今年で5年目を迎えます。
「最初の頃は取材でインタビューしようとしても、私はいいわあ、と言われてたり、小学生なんか走って逃げた。それが今は進んで話感謝されたと言います」
チャンネルひのは町の隅々まで生の情報を届けているだけでなく、町民の積極性と元気づくりにも大きく寄与しているのです。
「私たちは、町民の皆さんと一緒に番組を作りたいんです。集落の話題や相談事があれば、記者や役場に話してください。そのうち町民の方にレポーターになつてもらおう番組を作ろうかと考えています」(足立哲也さん)
いいぞ、チャンひの!



あとがき

今年の干支は兔。ぴよんぴよんと跳ねる飛躍の日野町になりますように!
昨年は、開かれた議会を目指し予算審議の様子を「チャンネルひの」でテレビ放送を開始しました。
また、議会だよりも、できるだけだけ議員の意見や質問など審議の様子が伝わる編集を心がけてきました。町民の皆様から、読みやすく分かりやすく、議会活動がよくわかると好評価を頂けるようになりました。
一歩一歩前へと歩んできました。この議会も4年の任期が参りました。この議会、たよりが任期最後の発行となります。
町民の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。この一年が良かったようになりますようにお祈りいたします。
(安達 幸博 記)